



# RANCID LOVERS #1

Kalma-route of Summonnight3  
-for Adult only-

RANCID LOVERS#1  
Kaimo route of Summonnight3



SyntheticGarden 2005

Allright of the manga, character and the design of the Record are reserved.  
Unauthorized duplication, publishing, reprinting and resale are strictly prohibited.

RANCID LOVERS #1  
Karma-route of Summonright



何時からだろう…  
ここに閉じ込められて  
どれくらい経過したのか  
もうそれさえも覚えていない  
ここに  
心を焼く無力感と…  
軀を焦がす絶望的な快感—

はア  
止まらない…の

へっ…ぶっ

こんなコト…止めないと  
やめないとダメなのに…  
はひ…ッ!

でも…私の心は折れてない—  
まだ…私の剣は折れていない—

私の力  
拔剣者として  
覚醒した強大な力を求め…

…彼ら「無色」は私達を  
襲いました

はあ…ッ

これ…ッ  
イヤの…お

チクヒ自分で  
グリグリするのも…お  
私のイヤらしいオチン〇ン…  
こうやって扱くのお…も…お

何時—誰か来るかも  
しれないのに人目を避けるように  
こんな必死に…ンッ！

オチン〇ちんでえ…  
しごいでえ…へ…

…ん…ん…



フフ…

相変わらずセンスリ中毒なのね  
変態家庭教師さんは…

この人が私に宛がわれた  
彼らの言う所の「御主人様」…  
確かツェリーヌ…と言ったはず…

「無色」の幹部なのだそうだけど  
どんな力を持ってしても私の「剣」は

折れたり、しない

ツツツツツ

ツ…ツェリーヌ…  
…さ…ま…

ひっ！  
んあ…アッ！

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツツツ

ツツツ

こんなに臭いザーマン部屋中に  
ぶちまけて…ペンキ代わりに  
壁を真っ白に塗り替えるつもり？

そ…そんなコト…ほお

壁に射精しながら言っても  
説得力無いわよ…  
私に遠慮しないで続けなさいな

—セ・ン・ズ・リッ



冥界サプレスの悪魔と  
契約したらしい彼女には……  
……見るもおぞましいベニスが  
備わっていました

そして……抜剣者の私にも

うふふ…貴女見てたら…♪  
私もこんなに勃起しちゃったわ  
責任取ってもらおうかしら

まだまだイケるわね…

そ…んっ！  
な…アッ！

ふぶっ  
最初は子供位だったのに  
あつという間に下品な  
馬並み奴隷子○ホね……

ホラ…  
すぐ勃起する変態チン○

は…あ…ッ！  
ひああんッ！  
も…オ無理…です



貴女 気付いてるっ

アテイのマソチ○ホ……  
……とっても臭いわよ  
——っ！

何時も  
——こうやって卑しい言葉で  
私を責める

無駄……だと知らずに

おめ……ん

アテイのセンスリザーメン  
たっぷり染み付いて……  
イイ匂い——よ  
マソベニス奴隷の匂い……

は……う……  
す……吸っちゃ駄目……です……う  
音立てて吸っちゃ……  
吸われた——……らあ……ッッ





は…あーッ！

ツ…ツエリー又様や…  
無色の方々に…犯されるの…オ

皆さんに輪姦されるのを妄想して  
イキました…あ！

肉奴隷アテイのはしたない  
オチ○チン…

——オチ○ポでしょ

イヤらしいオ○ンチン扱いて…え！  
——オチ○ポ

お…オチ○ポっ！チ○ポしごいて  
十七回イキました…あ——ッッ！

無駄な事を繰り返す！

私の心はそんな事では  
折れない、と…言うのに

ひあー！  
おお…ッ！

押し付けちゃらめ…へえ！  
オチ○チン押し付けたら…あ！



わた...し...ま...だ...  
折れて...なんて...ない...

流れ込んだ精液が...  
は...いて...これ...は...

流れ込んで...え!

は...あ...ッ  
せ...せ...えき...ッ

今たっぶり私の「さあめん」  
アテイの精子○ホに注いで  
あげるわね...

はあひ

はあひ

はあひ

あ...あ...あ...  
あ...あ...あ...

私の妖魔ザーメンで  
締りの無い人間噴水に  
栓してあげる

— 締りてこや

は...あ...あ...  
は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...

は...あ...あ...



ふふ  
そんなにオチ○ポ扱くと  
擦りむけちゃうわ…

ひあん！

hah...

そおーじゃ  
私も貴女に挿入れたいから  
気持ち良さそうに啜えてるアティの  
極太ひり出してくれる？

下品な音立てて腸液と  
唾汁ぶちまけてくれたら  
考えてあ・げ・る♪

ヌルヌルのオチン○ン…ッ

ーオチ○ポ  
おっ…オチ○ポお…擦り付けたらあ  
裏筋…つかカリ…とか当たって…え！

あひい

—射精しそつなのね？

そオ ですっ  
アティの雌サーメンイヤらしく  
部屋中にぶちまけたい…ですッ！

はぶ

んっあ！

はあ…ッ  
ひいんー

又又  
又又  
又又  
又又

んっあ！

んっ

んっ

んっ

んっ



はあッ  
ふあ

違うの…  
違う…んです

これは

フフ…  
無様にイキなさい  
「魔剣の戦姫」…さん

アテイの…ッ  
アテイのケツ穴とハメ穴から…アッ！  
ぶつといの二本…んッ！  
はしたなくヒリ出す所を見て…エ  
下さいいいいいいいイイ

ズルッ  
ズルッ  
ズルッ  
ズルッ

ズルッ  
ズルッ  
ズルッ  
ズルッ

ズルッ  
ズルッ  
ズルッ  
ズルッ





ぶぶ…っ  
こんなに広がっちゃって…

は…っ

流石にこの一月  
私達の精液だけで栄養  
取ってるから綺麗なものね

さて—  
アティはどっちの肉穴  
使って欲しいの？

おひ…りい  
お尻…をお…  
「ケツ穴」—ね

思いつきり広げないと  
いくらケツ穴家畜のアティでも  
裂けちゃうわよ…



はあ…い  
ケ…ツ穴…をお…ツ  
ケツ穴にツエリーヌ様の  
オチ○ポ…下さい…

はひい…っ  
はあ



はひい…っ

あ  
キ  
たあこ  
…れえ



「コレ」されるの好き…イ



はひい…っ





はぁ...ッ

んっ  
イイのお

んっ  
はぁ...ッ

はぁ...ッ

んっ

んっ

んっ

コレ  
そうだ  
— こうやってケツ穴を抉られてえ...  
直腸まで極き回され... たかったんですね  
— 私...



はぁ...ッ

んっ  
んあッ!

ド変態の下淫乱奴隷のアティは  
ケツ穴犯されてイキまくるのね

んっ

んっ

んはああああ…ッ も…ッ  
もおだめ駄目ダメ…ッ

「睨ちる…ッ睨ちて行っちゃやう睨ちるう  
「本当の私」が目覚ましちゃう…  
「睨とされたたくて  
まともな振りをしている、私」が

そ…オです…ッ  
ケツ穴犯されて…エッ…  
イキまくり…ます…う…ッ…

お尻でイッても  
イケない…のおッ！  
お願いします…ッ  
もオザーメン…アテイ精液  
射精させて下さ…いいッ





は……あ……ふ  
良いわ……許可する

そろそろ射精すわ——ッ  
いい？ケツ穴チ○ポ奴隷  
アテイも一緒……に……  
チ○ポ汁ぶちまけ……なさいッ！

ズルズル  
ズルズル



—今のイキっぷり  
—良かったわ  
—アティ「先生」…



アル…ディラ…さん  
何故…何が…起…きて

—さ…もっと見せて  
—貴女のイヤらしいところ…

そのために…  
私はここに来たのだから…



to be Continued...

## あとがき

■どうも美和美和です。

■すみません終れませんでした。

■すみませんアディ先生本お待たせしました。

■すみませんフタナリ苦手な方。またやっしまいました。

■すみません濃い目の輪線とか触手とかは次回です。

■すみませんこのページのカットも使い回しです。

■すみませんサモンナイト3やってないと固有名詞さっぱりです。

■すみません、表1、奥付、扉に誤字あります。

(再版時に直っていたらなおすみません)

■では、冬予定の「Rancid Lovers#2(完結予定)」で。

■どうも美和美和でした。



■このスバラスイアティ先生は、週刊兄弟に頂きましたー  
お忙しいところ本当にありがとうございます。

っていうか、これ本当はカラーなのです。  
肌のプリプリ感とか、柔らかそうなヘアとか表現するのですが  
もったいないもったいない







# RANCID LOVERS<sup>#1</sup>

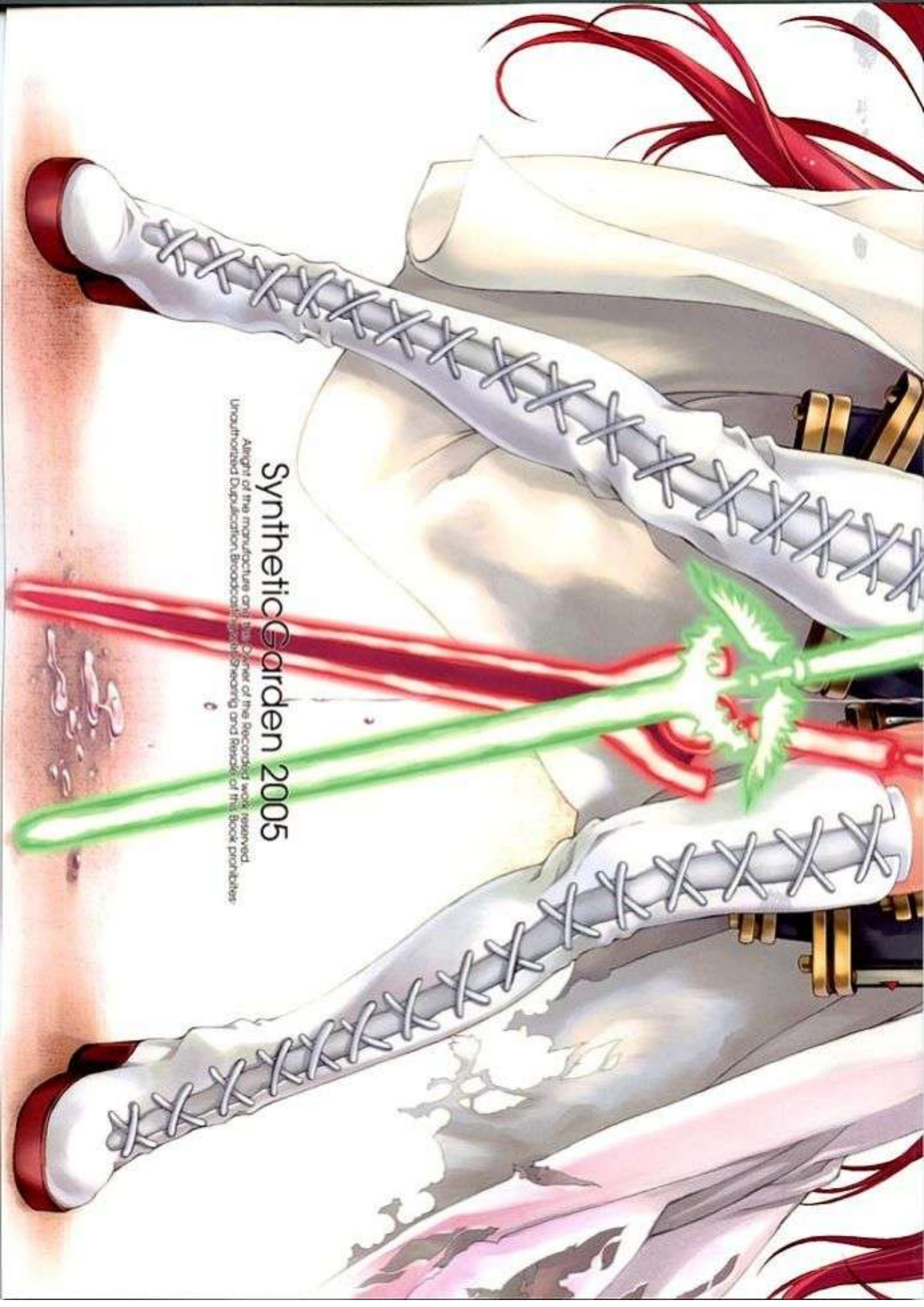
Kalmaroute of Summernight3

SyntheticGarden 2005summer

初版：2005.8.14

発行：美和英和/SyntheticGarden

印刷：ビブリス



# Synthetic Garden 2005

Allright of the manufacture and the Owner of the Recorded work reserved.  
Unauthorized Duplication, Broadcast, or any Streaming and Resale of this Book prohibits.